

滋賀県平和祈念館 年報

第 6 号

(平成 29 年度)



滋賀県平和祈念館

はじめに

滋賀県平和祈念館は、平成 24 年 3 月、「語りつぐ 平和へのねがい」を指針として、県民のみなさまの大きな期待と希望をになって開館しました。

開館の初年目にあたる平成 24 年度の活動（23 年度分を含む）については、『滋賀県平和祈念館 年報』第 1 号を平成 25 年 12 月に刊行し、その後は各年度の活動について、それぞれ『年報』にまとめ、報告したところです。本号では、ひきつづき平成 29 年度の活動をまとめています。

本館の運営にあたっては、「モノと記憶の継承」、「自らできることのきっかけづくり」、「県民参加型の運営」という三つの基本方針のもとで、県民の戦争体験を継承する事業として、展示事業をはじめ、資料収集保存、普及啓発、平和学習支援、ボランティア活動支援などの諸事業を展開しています。

平成 29 年度の展示事業としては、まず本館の開館 5 周年を記念して、第 17 回企画展示『シベリア抑留—ユネスコ世界記憶遺産—』を舞鶴引揚記念館の資料をお借りして開催しました。さらに第 18 回企画展示『戦時のくらし モノがたり—もの不足 食糧不足—』、第 19 回企画展示『野洲郡 北里村—戦時下のムラの人と風景—』のほか、『ヒロシマ・ナガサキ原爆写真ポスター展』などを行いました。そして戦争体験聞き取り調査や収集資料の整理は引きつづき精力的に続けています。

平成 29 年度の普及啓発事業では、3 回にわたる原田敬一佛教大学教授による大人のための歴史教室「映画で考える歴史」をはじめ、昨年度から進めてきた「滋賀県戦争遺跡分布調査」の成果報告を 3 回にわたって開催しました。また、年々参会者が増えすっかり本館の行事として定着した「戦争体験を聞く会」および映画上映会を毎月開催しました。戦争体験者の映像記録の事業も着実に進み、常時公開しています。

一方、子供向けの事業として「へいわの学校あかり・ピーススクール」の通年開催、そして「平和を願う子どもピースメッセージ絵画コンクール」も実施することができました。さらには「自分史づくり講座」など、大人から子どもまでが参加できるさまざまな事業をおこないました。

平和学習支援事業では、児童生徒の来館学習や出前講座にくわえて、パネル展示などをつうじた地域への平和学習支援もおこなっています。本館ではボランティア活動もさかん、現在の登録メンバー48名（平成 29 年度末現在）で7つのグループ活動があり、本館のさまざまな事業で協働がすすんでいます。

平成 29 年度末で開館以来の来館者総数は 14 万 7 千人を超え、出前学習利用者を加えると 20 万人近い人々に祈念館をご利用いただきました。

これもひとえに県民のみなさまのご支援のたまものと思います。

今後とも本館の運営にご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

平成 30 年（2018 年）8 月

滋賀県平和祈念館館長 端 信行

目 次

はじめに	1
------------	---

I 事業概要

1 展示事業

(1) 企画展示	3
(2) 企画展示関連事業	13
(3) 特別企画展示	15
(4) 地域交流展示	16
(5) その他の展示	19

2 資料収集保存事業

(1) 戦争体験聞き取り調査	21
(2) 収蔵資料の整理・保存	22
(3) 滋賀県戦争遺跡分布調査報告書作成	23

3 普及啓発事業

(1) 平和学習講座「梵鐘を守れ！ - 文化財保護をめぐる戦時下の裏面史 -」、 平和学習講座「戦争遺跡分布調査報告会」(3回連続講座)	24
(2) 大人のための歴史教室「映画で考える歴史	26
(3) 戦争体験を聞く会	26
(4) 戦争遺跡見学フィールドワーク「米原市の蒸気機関車避難壕の見学&水谷 先生の平和学習講座」	31
(5) 平和を祈念する日事業「今こそ語ろう、語り継ごう！戦争のことを…」 ..	31
(6) 開館6周年記念事業	33
(7) 館長講座「自分史づくり講座」	34
(8) 映画上映会	34
(9) 平和の学校あかり・ピーススクール	36
(10) 平和を願う子どもピースメッセージ絵画コンクール	41

4 平和学習支援事業

(1) 来館学習の支援	44
(2) 出前授業	45
(3) 地域への平和学習支援	46
(4) 資料の貸出による平和学習支援	46
(5) 戦争体験者証言映像の制作	48

5 ボランティア活動支援事業

II 資料

1 利用状況	52
2 広報活動	56
3 組織	60
4 決算	61
5 施設概要	62
6 利用案内	63
7 関係規程	64

I 事業概要

1 展示事業

(1) 企画展示

開館5周年記念特別展示（第17回企画展示）

「シベリア抑留 - ユネスコ世界記憶遺産 舞鶴引揚記念館所蔵品より -」

○会期 平成29年（2017年）4月29日～9月3日

○会場 滋賀県平和祈念館企画展示スペース

○開催趣旨と概要

趣旨： 敗戦後、ソ連軍捕虜となった日本軍人等は、シベリアなどソ連各地に収容され、過酷な労働に従事させられた。極寒・飢え・重労働に苦しんだ抑留者の数は60万人以上、死者5万人以上といわれている。

抑留と引揚に関する資料を収集してきた舞鶴引揚記念館の所蔵資料は、平成27年にユネスコ世界記憶遺産に登録された。今回は当館開館5周年記念特別展示として、そのうち抑留絵画を中心に複製品を展示・紹介した。



第17回企画展示チラシ



展示の様子

概要：

【プロローグ】

舞鶴引揚記念館が常々象徴的に使用している引揚・再会の写真をプロローグの背景におき、記念館が所蔵するシベリア抑留・引揚関係資料の「ユネスコ世界記憶遺産登録証（模造）」を展示した。

【ユネスコ世界記憶遺産 抑留体験の記録】

「世界記憶遺産」に登録された木内信夫さん、羽根田光雄さん、安田清一さんの抑留絵画(複製)と、瀬野修さんの白樺日誌(写真)、抑留関係資料を紹介した。



【ユネスコ世界記憶遺産 帰還を願う家族】

抑留者を国内で待つ家族に関する資料として、「岸壁の母」と呼ばれた端野いせさんの写真・手紙(模造)、モスクワ放送で抑留者の安否を確認し、その情報を家族へ知らせ続けた坂井仁一郎さんの葉書等(模造)を紹介した。



【県民のシベリア抑留】

シベリア抑留を経験した県民の体験談と、抑留で使用されていた衣類、手作りの食器、検閲を免れて持ち帰ってこられたメモ類を紹介した。



第18回企画展示「戦時のくらし モノがたり - もの不足 食糧不足 -」

○会期 平成29年(2017年)9月9日～12月24日

○会場 滋賀県平和祈念館企画展示スペース

○開催趣旨と概要

趣旨： 中国や東南アジアを植民地とする米英蘭など、日本を取り囲むすべての国と激しい戦争をしていた日本。資源が乏しい日本は人材・物資・財産のすべてを戦争完遂にそそぐ「国家総動員」体制でのぞんだため、国民は極端な耐乏生活をしいられた。

軍事物資に活用するために供出された日常金属製品にかわり、陶器・布・紙製の代用品が使用され、また米や野菜にかわって「代用食」を食べるのが日常となった。今回は当時の耐乏生活のようすを、もの資料と体験談で紹介した。



第18回企画展示チラシ



展示の様子

概要：

【プロローグ】

現東近江市平田町の梵鐘供出の写真为背景として、当時の物資統制を象徴するものとして、軍事物資のために流通が規制された皮革製品にかわって作られた、紙・アルミ・竹・布製のランドセルを展示した。

【お寺の鐘の供出】

昭和 17 年、寺院梵鐘が一齐に供出されたときの記念写真と、栗東歴史民俗博物館から借用した返還梵鐘を展示した。本品は供出時に成分分析のための穿孔が残り、戦後返還された例である。そのほか県内寺院の返還梵鐘の写真、梵鐘救出に奔走した県職員日名子元雄さんと文書を紹介した。



【金属製品の代用品】

供出しなければならぬ金属製日用品にかわり、陶磁製・木製などの代用品が作られ、実際に使用された。今回は本館所蔵品に加えて、青山均氏の協力を得て氏のコレクションを紹介した。





【庶民の生活】

金属の供出と食糧に対する厳しい統制は、青年男性を徴兵・徴用にとられた家庭生活に深刻な影響をおよぼした。戦争のために家庭生活の様々な面を犠牲にするよう呼びかけたポスターを紹介するとともに、配給による食生活がいかに厳しいものであったかをパネルで解説した。



【戦時の食糧難】

食糧統制下の生活を物語る体験者の証言を紹介し、旧朽木村市場区の区有文書に見える、大麦・梅干し・木炭・米の供出の実態を紹介した。



第19回企画展示「野洲郡 北里村 - 戦時下のムラの人と風景 - 」

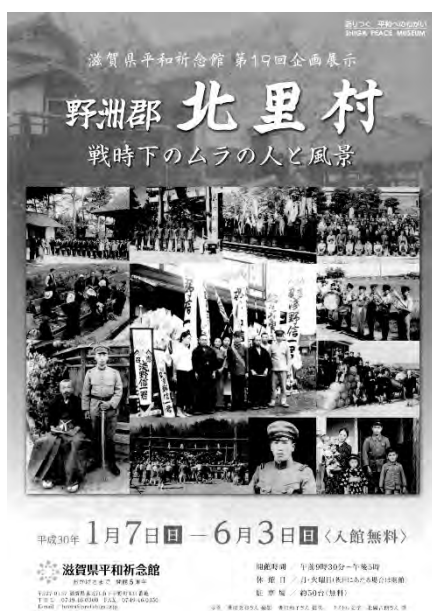
○会期 平成30年（2018年）1月7日～6月3日

○会場 滋賀県平和祈念館企画展示スペース

○開催趣旨と概要

趣旨： 現在の近江八幡市北里学区は、昭和10年代には野洲郡北里村と呼ばれていた。北里村の5つの大字のひとつ、野村におられた晝田英杉（ひるた ひですぎ）さんは、昭和13年に日中戦争出征者の家族の記念写真をはじめとして、水郷の風景や戦時のムラのくらしがうかがえる、多数の写真を撮影されていた。

今回は晝田さんの写真を中心にして、戦時色におおわれてゆくムラのようすを紹介した。



第19回企画展示チラシ 表面



展示の様子

概要：

【プロローグ】

晝田英杉さんの写真を背景におき、地域住民を戦争協力にみちびくリーダーとなったといわれる在郷軍人会関連の史料を展示した。

【北里村の風景】

北里村の沿革を解説し、終戦直後の空中写真で地理を説明。晝田さんが残した水郷の風景、神社の行事、橋の開通式、学校行事など、当時の北里村の日常風景をとらえた写真を展示した。



【晝田英杉さんとご家族】

晝田英杉さんおよび写真を保管しておられた長女の和子さんらご家族の写真と、遠縁にあたる晝田利秋・寛治・修さん三兄弟の出征記念写真と戦死された利秋さんの遺品（正装軍服とコートなど）を展示し、晝田さんのご家族を紹介した。また、本展の写真解説をお願いした梅村昭一さんの叔父末吉さんの遺品（農事調査書と蓄音機）を展示した。



【ムラのつながり】

晝田さんのアルバムには、戦時特有のムラの組織である国民学校・青年学校、警防団、国防婦人会の記念写真が含まれている。これらの写真を展示するとともに、戦争に国民を総動員する仕組みを解説した。



【出征】

昭和13年5月に撮影された出征記念の家族写真が多数含まれ、このとき日中戦争へ大量動員されたことを示している。この写真と、写真にも写っている出征幟を本館所蔵品から展示した。本展の中心をなす部分である。



【無言の帰還】

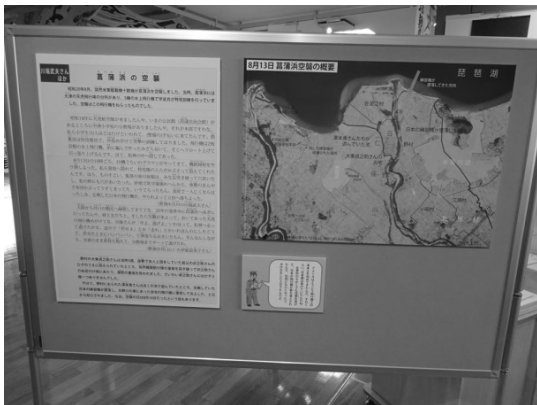
北里村へ骨となって帰還した戦没者は自宅の祭壇にまつられ、本葬として国民学校の講堂で村葬が行われた。村葬へむかう葬列と村葬のようすを写した写真を展示するとともに、戦没者とその家族のようすがうかがえる豊郷町北川儀一郎さん宅の手紙類を紹介した。



【戦争末期の北里村】

出征幟で見送ることがなくなった太平洋戦争中の出征式の写真と、北里村から沖縄へ出征された木本さんの体験談を紹介した。また、戦争末期のムラのようにして、食糧増産・梵鐘供出・北里村を襲った空襲について紹介した。

最後に写真が撮影された場所の現在のようすを古写真とともに展示し、特別に貸与された晝田和子さんの書を展示した。



(2) 企画展示関連事業

○開館5周年記念特別展示（第17回企画展示）関連

①オープニングセレモニー

平成29年4月29日（土）

9:50 開館

10:00 館長あいさつ

テープカット

（舞鶴引揚記念館 山下館長、
滋賀県健康医療福祉部 藤本
部長、当館 館長）

10:15 学芸員による展示説明

11:00 講演会

『世界の記憶 ―平和の願いを未来へ―』

山下美晴（舞鶴引揚記念館 館長）

参加者 48名



②映画上映会

・平成29年5月20日（土）

『帰還証言―ラーゲリから帰ったオールドボーイたち―』前編

監督：いしとびたま

参加者 34名

・平成29年6月17日（土）

『帰還証言―ラーゲリから帰ったオールドボーイたち―』後編

監督：いしとびたま

参加者 32名

③木内信夫氏の来館

「戦争体験を聞く会」のシベリア抑留経験に関する礒田稔氏の講演にあわせ、本展で展示のした抑留絵画の作者木内信夫氏のご家族と来館された。木内氏は世界記憶遺産登録資料の製作者として、世界唯一の生存者である。これにあわせて舞鶴引揚祈念館の山下館長も来館され、一同勢揃いとなった。



○第 18 回企画展示関連

平和学習講座 「梵鐘を守れ！―文化財保護をめぐる戦時下の裏面史―」

- ・講師 井上 優（滋賀県教育委員会 文化財保護課 主幹）
- ・開催日時 平成 29 年 10 月 22 日（日）13：30～
- ・参加者 16 名
- ・事業概要 本展で紹介した元滋賀県職員の日名子元雄さんが供出から梵鐘を守ろうとした姿について、彼が残した「金属回収除外申請」の簿冊にもとづいて講演いただいた。

○第 19 回企画展示関連

戦争遺跡探訪会 「探訪 陸軍飛行場と八日市」

- ・開催日時 平成 30 年 3 月 21 日（水）9：10～12：30
- ・参加者 24 名
- ・事業概要 八日市の街に残る旧陸軍八日市飛行場の痕跡と当時の陸軍関係施設の跡をめぐる探訪ツアーを実施した。近江鉄道八日市駅からバスで林田へ行き、旧御園村役場から出発して、飛行場跡を通過し、八日市鉄道本社事務所であった新八日市駅駅舎を終点とした。（全行程約 7 k m）

(3) 特別企画展示

第6回特別企画展示 「家族の肖像」

○会期 平成29年（2017年）3月22日～平成30年（2018年）3月25日

○会場 滋賀県平和祈念館エントランス

○開催趣旨

戦争に巻き込まれた家族の写真をタペストリーに構成し、エントランスに展示した。

タペストリーには、満洲で八路軍に留用された元航空兵で、現地で晴子さんと結婚し、昭和29年に2人のお子さんと帰国された河内健吾さん。出征した4人の兄のうち、かわいがってくれた長男の宗男さんと次男一重さんを戦争で亡くされた奥島すみ子さん。幼い娘を残して出征した夫益治郎さんに、最後の面会でも娘を連れて行けず、戦地へ送った写真も届かないまま戦死されたことを悔やむ勝見一恵さんなど、過酷な運命を潜り抜けた10家族の肖像を紹介した。



特別企画展示 タペストリー



特別企画展示 解説パネル

(4) 地域交流展示

「戦争体験者証言映像上映」

○会期 平成 29 年（2017 年）4 月 5 日～6 月 30 日

○開催趣旨

昨年度制作した戦争体験者証言映像をより広く県民の皆さんに知ってもらおうと視聴スペースを設けて常時上映した。同時に証言された 4 名の語る内容を紹介するパネルを展示した。



戦争体験者証言映像上映の様子

「ヒロシマ・ナガサキ原爆写真ポスター展」

○会期 平成 29 年（2017 年）7 月 5 日～8 月 31 日

○開催趣旨

広島平和記念資料館より借用した、広島、長崎の原爆被害の実相や現在の核兵器の状況などについて、写真や図表を用いてわかりやすく説明したポスター（A1 サイズ 84×59 cm 30 枚）を展示した。



写真ポスター展の様子

「ミニ原爆の図展」

○会期 平成 29 年（2017 年）7 月 24 日～8 月 20 日

○開催趣旨

「原爆の図」の縮小パネル版（小パネル 45×180cm 3 枚）を丸木美術館より借用し展示した。今年度は、原爆の図（全 15 部）の中から、第 1 部「幽霊」、第 2 部「火」、第 15 部「長崎」を展示した。



ミニ原爆の図展のようす

「児童生徒向け体験型学習展示」

○会期 平成 29 年（2017 年）9 月 9 日～12 月 24 日

○開催趣旨

背嚢を背負った時の重さ体験や国民服の試着、瓶搗き精米など体験を通して学ぶ展示を実施した。また、併せて「滋賀の戦跡パネル」も展示した。



体験型学習展示の様子



滋賀の戦跡パネル展示の様子

「子ども平和学習成果物展」

○会期 平成 30 年（2018 年）1 月 7 日～3 月 25 日

○開催趣旨

各校で行われた平和学習の成果物（模造紙にまとめたものや新聞、ポスターなど）を展示した。また、9～12 月に来館した学校の児童生徒に書いてもらったピースメッセージ（31 校 1585 枚）を展示した。



子ども平和学習成果物展の様子



子ども平和学習成果物展の様子

(5) その他の展示

「奉安庫」常設

○会期 平成 26 年（2014 年）6 月 28 日～

○展示場所 滋賀県平和祈念館 2 階 研修室横壁面

○開催趣旨

当館の常設展示資料として、大津市立上田上小学校より寄贈いただいた奉安庫を設置した。戦前の学校では、明治の終わり頃から、紀元節、天長節、新年、明治節の国家祝賀式典には、宮内省から各学校に貸与された天皇と皇后の写真（以下、「御真影」）に最敬礼し、「教育勅語」を奉読する儀式が執り行われていた。この儀式の際に使用する「御真影」と「教育勅語」を納める奉安所として、各学校の講堂や校長室などに奉安庫が設置された。

大津市立上田上小学校の奉安庫は、昭和 8 年（1933 年）10 月 7 日に竣工された講堂に設置されていたが、昭和 58 年（1983 年）、講堂が老朽化のために解体された際に奉安庫の枠のみ取り出し、校舎の階段の踊り場に移設された。平成 25 年（2013 年）には、設置されていた校舎の改修が決まったため、当館へ寄贈いただいたものである。



奉安庫展示

「平和を願う子どもピースメッセージ絵画コンクール作品展」

○会期 平成 29 年（2017 年）11 月 4 日～平成 30 年（2018 年）1 月 28 日

○展示場所 滋賀県平和祈念館 2 階 ギャラリー

○開催趣旨

次世代を担う子ども達が、戦争と平和をテーマにした絵を描くことにより、戦争の悲惨さや平和の尊さを考えるきっかけとするとともに、子ども達が描く絵画を通して、広く県民に平和への想いを伝えることを目的として実施した。優秀作品 6 作品を含む応募のあったすべての作品（513 点）を展示した。



優秀作品の展示の様子



応募全作品の展示の様子

2 資料収集保存事業

(1) 戦争体験聞き取り調査

滋賀県平和祈念館では、戦争当時滋賀県にお住まいだった方、あるいは滋賀県にご縁のあった方を対象に、調査員2名を配置して戦争当時の話の聞き取り調査を行っている。体験者の方の高齢化が進む中、一人でも多くの方の体験を記録として残すことが急務となっている。平成29年度の調査件数は88件で、その内29名の方から直接的な体験談の聞き取りを行った。また、寄贈等資料に重点を置いた聞き取りは36件、資料・戦跡・体験等の調査は23件である。体験談の内容では、軍隊での体験が約半数を占め、最も多く、次いで国民学校児童や中等学校生徒としての体験が約3割見られた。他には挺身隊としての勤務や軍需工場での勤務などの体験が見られた。

～平成29年度戦争体験聞き取り調査事例～

零式艦上戦闘機(ゼロ戦)操縦者としてソロモン周辺で戦闘

南田 覚さん(95才)＝守山市＝

南田覚さんは、大阪の加工綿業の会社に勤めていましたが、17歳の時、予科練に志願し、第10期生として土浦海軍航空隊へ入隊します。

土浦で基礎訓練を修了し、飛行練習生として大村海軍航空隊へ移ります。ここで、九六式戦闘機で訓練を重ねました。昭和16年(1941年)12月8日、日本海軍の真珠湾攻撃によって日米が開戦しますが、その時「えらいとこ志願したな」というのが本心だったそうです。豊橋の第251海軍航空隊が編成された時にその隊員となります。そして、零戦の搭乗員となります。第251航空隊は、ガダルカナル島などソロモン諸島方面で戦う部隊であったので、サイパン島、トラック島などを經由してニューブリテン島のラバウルに移ります。昭和17年(1942年)11月のことでした。周辺地域は激しく日米が戦いを繰り返していた激戦地でした。ゼロ戦隊の主な任務は、爆撃機や攻撃機を護衛することでした。ガダルカナルの上空で初めて米軍機に遭遇した時は、急上昇して逃げて帰ったそうです。上がってしまい、どう行動してよいのかわからなかったのです。1年ほどの間に何度も出撃し、米軍機のグラマン戦闘機と空中戦をしてきた南田さんは、昭和18年(1943年)の10月にラバウル上空の空中戦で機銃弾を両足と腕に受けて、負傷します。飛行場に着陸した時のことは、ほとんど覚えておらず、意識を無くしていました。その時に、遠いところから母親が現れて、「しっかりせえよ、そのままやったらしんでしまう」と言ったような気がして、何分か後に気が付いたのでした。このけがを治療するために、横須賀の海軍病院に運ばれます。しかし、左足の膝関節と、右足の足関節が回らなくなっていました。20歳の時のことでした。不自由な生活は、その時以来、今も続いています。

(2) 収蔵資料の整理・保存

滋賀県平和祈念館では、県民の戦争体験にまつわる資料や戦争当時の滋賀県に関連する資料 35,000 点以上を収集し、その整理、保管を行っている。平成 29 年度は、新たに 2,397 点の資料を収集した。

ほとんどの寄贈資料は、戦争体験者本人よりその子、孫世代の方々からのご寄贈が増えてきた。今年度は、収蔵資料の点検整理事業も取り組んだ。寄贈資料の状態を保ち、次世代へ継承していくためにも、資料の整理作業を継続する。

～平成 29 年度受け入れ資料の事例～



落下傘の一部

戦後になって配給されたもの。

縦 231cm、横 90cm

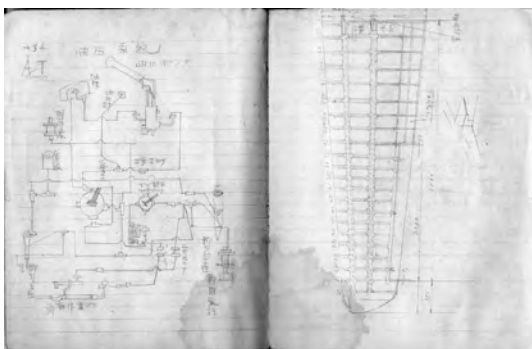
東近江市 山田 恵美子さん 提供



陶製手榴弾と地雷（信楽焼き）

地雷は、粘土による生土地を機械ロクロで作った。

甲賀市 奥田 多紀子さん 提供



作業帳(大阪陸軍航空支廠八日市分廠 宮尾曾一氏)

八日市飛行場の分廠に教官としておられた方の持ち物。戦時中、分廠に県外の方もたくさん来られ、周辺の民家に宿泊しておられた。作業帳は、宿泊させていた民家から出てきた。

東近江市 山田 幸伺さん 提供

(3) 滋賀県戦争遺跡分布調査報告書作成

平成5年度から聴取を開始した戦争体験談では、たとえば空襲被害・軍需工場等への勤労働員・学童疎開・軍事施設といった、体験の場所が特定されている場合があり、周囲の様子は大きく変貌していても、その場所は体験者の生々しい記憶と深く結びついている。そうした場所には、八日市飛行場の掩体のように明示的に残されていることもあれば、機銃掃射で欠けた地藏像、組織的に設置された防空壕や軍事施設の痕跡、疎開で寮として利用された寺院の本堂といった例のように、体験者の記憶の中でしか戦争に結び付かない場合がほとんどである。しかしながら、体験談に語られた場所を具体的に特定して記録することは、次世代に体験談を伝える際に真実味を持たせる意味で重要である。

以上のことを考慮して、戦争を知らない世代に戦争体験を伝えるために、戦争にかかわる場所とそこに残された痕跡を体験者の記憶とともに記録し、また当館の基本展示スペースにある「床地図」の内容をより充実させるための事業として、戦争遺跡の分布調査の実施が平成26年度に構想された。そして平成28年度に、滋賀県立大学人間文化学部の中井均研究室への委託事業として実施した。

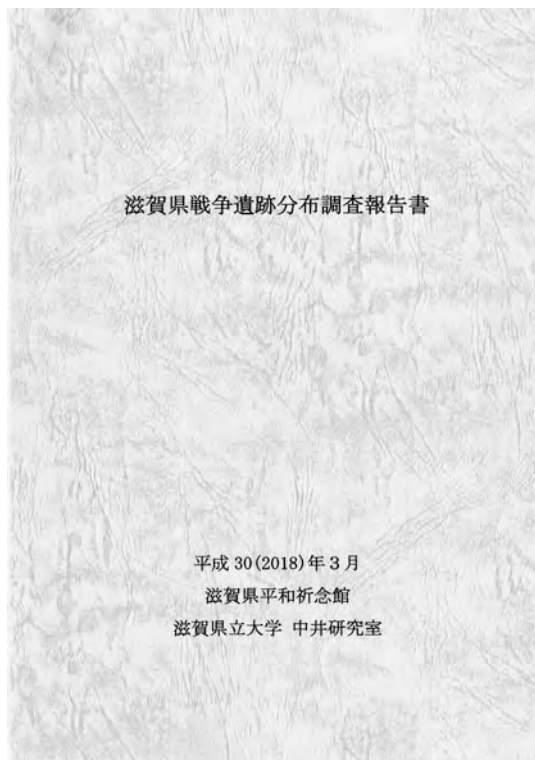
この成果にもとづき、平成29年度に『滋賀県戦争遺跡分布調査報告書』を刊行した。

【内容】

序文・例言

はじめに

第1章	空襲	7ヶ所
第2章	軍事施設	18ヶ所
第3章	避難壕	5ヶ所
附1	滋賀県戦争遺跡一覧表	115ヶ所
附2	滋賀県戦争遺跡分布図	13葉
合計	98	ページ



3 普及啓発事業

(1) 平和学習講座

「梵鐘を守れ！ - 文化財保護をめぐる戦時下の裏面史 - 」

○開催日時 平成 29 年（2017 年）10 月 22 日（日）13：30～15：00

○受講者数 16 名

○事業概要

滋賀県教育委員会文化財保護課主幹の井上優氏を講師に迎えて、「梵鐘を守れ！ - 文化財保護をめぐる戦時下の裏面史 - 」と題して講演いただいた。テーマに対して、太平洋戦争のさなか、武器生産などの軍需に必要な金属資源の不足をまかなうために、金属類回収令が公布され、家庭内のあらゆる金属品とともに、寺院の仏具や梵鐘も供出を命じられた中、当時滋賀県庁に在籍していた文化財技師の日名子元雄氏が、かけがえのない文化財を後世に残すため、梵鐘の救出に奔走された様子や地域文化財を守った戦時体制下の知られざる記録を通して、文化財を守ることの真の意義についてスライドを用いて紹介、解説いただいた。



平和学習講座の様子



平和学習講座の様子

「戦争遺跡分布調査報告会」（3回連続講座）

○開催日時

平成 29 年（2017 年）12 月 17 日（日）、平成 30 年（2018 年）1 月 21 日（日）、2 月 18 日（日）各回ともに 13：30～15：00

○講座内容および受講者

第 1 回「大津陸軍墓地が語る兵士のすがた - 日清戦争期を中心にして -」

講師 辻川哲朗氏（公益財団法人滋賀県文化財保護協会）受講者 26 名

第 2 回「滋賀県に残る日本陸海軍の施設 - 大津海軍航空隊 -」

講師 神保忠弘氏（公益財団法人滋賀県文化財保護協会）受講者 36 名

第 3 回「滋賀県戦争遺跡の調査から」

講師 中井均氏（滋賀県立大学教授）

「米原機関車避難壕の測量調査」

講師 杉山佳奈氏（滋賀県立大学院生）受講者 50 名

○事業概要

平成 28 年度に、滋賀県平和祈念館が主体となり、滋賀県立大学に委託し県内に現存する戦争遺跡を調査した。12 月から 2 月にわたり、この調査に携わった 4 名の方々を講師にお招きし、テーマに応じてスライドなどを用いて調査結果を発表していただいた。



戦争遺跡分布調査報告会の様子



戦争遺跡分布調査報告会の様子

(2) 大人のための歴史教室「映画で考える歴史」

○開催日時

平成 29 年（2017 年）9 月 23 日（土）、10 月 21 日（土）、11 月 18 日（土）

各回ともに 14：00～15：30

○講座内容および受講者

第 1 講「ジョン・フォード『駅馬車』と南北戦争」 受講者 14 名

第 2 講「『マイ・フェア・レディ』とロンドン・アメリカ」 受講者 13 名

第 3 講「チャップリン『独裁者』とファシズム」 受講者 17 名

○事業概要

佛教大学歴史学部原田敬一教授を講師に迎えて、「映画で考える歴史」と題し、一つだけの歴史にとらわれるより、いくつかのバラエティに富んだものから膨らませることの楽しさを発見することに着目し、3 回連続講座として開講した。各講座では、よく知られた名画から歴史を再発見する試みとして、映画の原作者や監督がどのような時代を生き、それを作品にどのように投影していたかを受講者とともに考えるような講義をしていただいた。



大人のための歴史教室の様子

(3) 戦争体験を聞く会

【平成 27 年度より毎月 1 回実施】（8 月は平和を祈念する日事業、3 月は 6 周年事業にて実施）

○開催日時

平成 29 年（2017 年）4 月 16 日、5 月 14 日、6 月 11 日、7 月 16 日、9 月 10 日、10 月 15 日、11 月 12 日、12 月 10 日、平成 30 年（2018 年）1 月 14 日、2 月 11 日、各回ともに 13：30～15：00

○開催場所 滋賀県平和祈念館 研修室

○語り部、内容および参加者数

4月16日（日）

小森 章次さん

（大正12年生まれ、東近江市在住）

「八日市飛行場とともに…」

（企画展示関連講演）

参加者 39 名

「戦争体験を聞く会」の様子



5月14日（日）

藤川 誠一郎さん

（大正15年生まれ、東近江市在住）

「農業・農村から見る滋賀の銃後」

参加者 29 名



6月11日（日）

水波 堯さん

（昭和5年生まれ、彦根市在住）

「内湖干拓の勤労働員を経て予科練へ」

参加者 36 名



7月16日（日）

礪田 稔さん

（大正15年生まれ、大津市在住）

「8月9日のソ連軍侵攻からシベリア
抑留へ」（企画展示関連講演）

参加者 62 名



「戦争体験を聞く会」の様子

9月10日（日）

樋口 良次さん

（昭和7年生まれ、大阪府吹田市在住）

「近江八幡への疎開と大阪空襲」

参加者 28 名



10月15日（日）

田中 修さん

（大正11年生まれ、草津市在住）

「一式陸攻操縦士として要務飛行に携わり… - 硫黄島、国内各地 - 」

参加者 58 名



11月12日（日）

大野 貞雄さん

（昭和9年生まれ、京都府在住）

「満蒙開拓団の悲話 ～満州国で国民学校5年生時の戦争体験～」

参加者 27 名



12月10日（日）

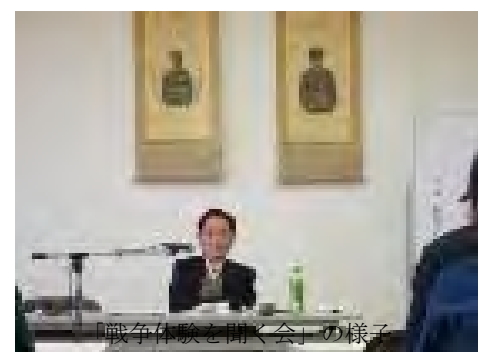
土田 修司さん

（昭和11年生まれ、草津市在住）

「幼き日々を振り返って…

- 父を亡くした少年が見た戦争 - 」

参加者 31 名



「戦争体験を聞く会」の様子

1月14日（日）
 小松 英郎さん
 （昭和5年生まれ、大津市在住）
 「家族を奪った豊栄丸の沈没 - 朝鮮・木浦
 での日々 -」
 参加者 47 名



2月11日（日）
 南田 覚さん
 （大正12年生まれ、守山市在住）
 「零戦パイロットとして臨んだラバウル
 空中戦」
 参加者 142 名



【平和を祈念する日事業関連】

- 開催日時 平成29年（2017年）8月13日、8月14日、8月15日
- 開催場所 滋賀県平和祈念館 研修室・地域交流室
- 語り部、内容および参加者数

月日	語り部	内容	参加者
8月13日	古川 優さん（昭和3年生まれ、甲賀市在住）	「戦時下の軍国少年 - 予科練・機関学校・兵学校を経て -」	36 名
8月14日	島野 喜道さん（大正15年生まれ、彦根市在住）	「中島飛行機武蔵製作所への動員 - 零戦のエンジンを手掛けて -」	47 名
8月15日	村田 辰夫さん（昭和3年生まれ、大津市在住）	「東京陸軍少年通信兵学校から中国の戦線へ」	65 名



戦争体験を聞く会（古川優さん）



戦争体験を聞く会（島野喜道さん）



戦争体験を聞く会（村田辰夫さん）

【開館 6 周年記念事業関連】

○開催日時 平成 30 年（2018 年）3 月 11 日（日）13：40～15：10

○開催場所 滋賀県平和祈念館 研修室

○語り部、内容および参加者数

月日	語り部	内容	参加者
3 月 11 日	早瀬 允人さん（昭和 5 年生まれ、近江八幡市在住）	「命を守った鉄かぶと - 大阪空襲・住友金属での体験談 - 」	42 名



戦争体験を聞く会（早瀬允人さん）

(4) 戦争遺跡見学フィールドワーク「米原市の蒸気機関車避難壕の見学&水谷先生の平和学習講座」

○開催日時 平成 29 年（2017 年）6 月 18 日（日） 9：30～12：30

○講演場所 岩脇公民館（米原市岩脇 1621）

○参加者 16 名

○事業概要

滋賀県立長浜北星高等学校の水谷孝信氏と岩脇まちづくり委員会会長・藤本伝一氏を講師に迎えて、「米原市の蒸気機関車避難壕の見学&水谷先生の平和学習講座」を開催した。まずは岩脇公民館で、水谷氏が「米原駅周辺の戦争遺跡や空襲について」というタイトルで平和学習講座を実施し、その後、藤本氏の案内・解説のもと、蒸気機関車避難壕の見学を行った。水谷氏にも避難壕の見学、その後の岩脇山の散策にも同行いただき、参加者の質問にも丁寧にお答えいただいた。



現地見学の様子



現地見学の様子

(5) 平和を祈念する日事業「今こそ語ろう、語り継ごう！戦争のことを…」

○開催期間 平成 29 年（2017 年）8 月 13 日（日）～15 日（火）

○参加者 904 名（開催期間中の来館者）

○事業概要

8 月 13 日～15 日の期間、「平和を祈念する日事業『今こそ語ろう、語り継ごう！戦争のことを…』」として、様々なプログラムを開催した。

その期間、大人向けの映画上映会として黒木和雄戦争レクイエム三部作の映画「TOMORROW 明日」、「美しい夏キリシマ」、「父と暮せば」を上映するとともに、子ども映画上映会としてアニメ映画「ガラスのうさぎ」、「かんからさんしん」、「対馬丸 さようなら沖縄」を並行して上映した。また、今年も 3 人の戦争体験者の方を迎えて「戦争体験を聞く会」を開催した。特に終戦の日にあたる 15 日は、正午に黙とうをささげるとともに、館長による平和メッセージを伝えるなど、平和を祈念するセレモニーを実施した。午後からは地元の八日市児童合唱「スマッシュ」

平和を祈念する日事業

滋賀県平和祈念館
おかげで文庫 観劇会 会場

今こそ語ろう、語り継ごう！ 戦争のことを・・・

当館ボランティアによる戦時食の提供

「戦争の記憶が遠ざかること、戦争を語り継ぐこと」

石垣りんさんの詩「戦争詩」の一節です。戦後70年の節目が過ぎ、目前より戦争や平和について語られることが少なくなってきました。しかし、世界に目を向けると平和とは理想しい現状が日々私たちの心に入ってきています。だからこそ、70年目の戦終の日を迎えるにあたり、より多くの世代に当館へ来ていただき、戦時のことを学んだり、平和への願いを、語り継ぐことの大切を感じていただきたいと思います。

8月13日(日)

10:00～11:50

映画上映会(研修室)

映画「TOMORROW 明日」

黒木和雄戦時レイクマン三部作・第一作

子ども映画上映会(多目的室)

アニメ映画「ガラスのうさぎ」

13:00～15:00

戦争体験を聞く会(研修室)

吉川 慶さん(昭和39年生まれ)

「戦時下の思い出学校」

一帯三校・徳島中学校・中学校をへて」

8月14日(月)

10:00～12:00

映画上映会(研修室)

映画「美しいヤマト」

黒木和雄戦時レイクマン三部作・第二作

子ども映画上映会(多目的室)

アニメ映画「かんかんさん」

13:00～15:00

戦争体験を聞く会(研修室)

高野道雄さん(大正15年生まれ)

「中島飛行機 武蔵製作所へての戦員」

一帯三校のエンジェルを支援して」

8月15日(火)

10:15～11:55

映画上映会(研修室)

映画「父と母と」

黒木和雄戦時レイクマン三部作・完結編

10:35～11:50

子ども映画上映会(多目的室)

「ドキュメンタリーアニメ対決」さんぽう映画

12:00～

平和を祈念するせしめん(研修室)

12:15～13:00

当館ボランティアによる戦時食の提供

先着 100食限定(多目的室)

13:00～13:30

八木重隆の講話「スズマシ」

ミニコーナー平和とメッセージ

14:00～15:30

戦争体験を聞く会(研修室)

村田 茂次さん(昭和39年生まれ)

「東京戦時少年連合会長村田さん(中国の戦終へ)」

16:00～16:40

当館ボランティアによる創作発表の発表(研修室)

※夏休みワークシードにチャレンジして

お問い合わせは、滋賀県平和祈念館までご連絡ください。

世界に一つだけの花、ゆかにゆかに♪(夏休み期間中開催)

県、市町村の職員にお尋ねください。

会場：滋賀県平和祈念館（栗東市江南中野町431番地）

お問い合わせは、滋賀県平和祈念館までご連絡ください。

電話 0749-46-0300 フェックス 0749-46-0350

メール heiwai@pep. shiga. lg. jp

[illegible]

8月13日(日) 10:00~11:50 2階 研修室
TOMORROW 明日 出演: 堀江貴子、南条あや、佐佐木史朗、原田芳雄、原田芳雄
 1945年8月14日、原爆投下7年後、南条あや、佐佐木史朗、原田芳雄、原田芳雄が、
 友情が、涙があふく。原爆投下7年後に舞台に、「明日」なぞと
 とを知らぬ人々のまたたきながら演じに挑む。

8月14日(月) 10:00 2階 研修室
美しいキリン 出演: 桐本拓、小園エリカ、石野真子、原田芳雄、他
 1945年8月、島を望む海苔の農村、広野で親友を見送る
 時のこの重荷から、希望をまたとどろこす15歳の少女の
 心。日、復は息の切った死んだの顔に許しをいかに行く。

8月16日(火) 10:15~11:55 2階 研修室
父と草子 出演: 宮沢りく、宮沢りく、宮沢りく、宮沢りく
 原爆投下から3年後の夏、愛する人々を原爆で失った
 津江は、自分が生き残ったことに負い目を感じていた。その
 とき、目の前に父・竹次の幽霊が現れて…

[illegible]

平成30年2月の対馬からこの写真とほぼ1ヶ月の月が経ち、2週間前（平成30年2月15日）の13:00~13:30 2階 研修室
に「スズメバチ」は、講師のバーのイベントから来るように、舞台に登場し、歌とダンスのショーを披露して、平成30年2月15日、平成30年記念のイベントを開催し、初め「ミュージカル」を披露し、大成功に
えることができました。
スズメバチは、まださあさあで歌とダンスを披露し、歌うほどに会場は
のどか、希望、感動が空気をこのように染めて、歌う。
曲名
「世界がひとつになるまで」(平成30年2月15日、「世界がひとつ、他

「新作創作催しは生きている！」
 ユネスコ世界記憶遺産に登録された舞踊引継ぎ会館所蔵資料の一部を展示する平成25年記念特別展「シベリア留置」を受けて、昨年の脚本をリニューアルした形で発表します。シベリア留置を経験された故郷横浜から、戦争中在留の経路を導き、劇中の言葉や表現をより充実させた作品にしました。乞うご期待。

足下アークシートに
 チェンジェンして
 両手両足を動かして
 うけ

身体を移動中、カンパニーにある
 実演アークシートにチェンジェンし
 て、アークシートを動かしながら
 役を演じます。



(6) 開館 6 周年記念事業

○開催日時 平成30年(2018年)3月11日(日) 10:00~16:40

○参加者 161 名（開催日の来館者数）

○事業概要

開館 6 周年を記念して 3 月 11 日に「戦争体験を聞く会」や新作 DVD「戦争証言 2017」の上映会、当館職員による戦争体験聞き取り調査などの事業活動報告会、へいわの学校あかり・ピーススクール生による活動報告会など様々なプログラムを開催した。さらに当館のボランティアグループによる戦時食の提供や紙芝居の上演など日ごろの活動成果を発表いただいた。

開館6周年事業

開館から6年を むかえます



財団法人新緑会館



「平成30年度」実行役より「平成30年3月17日」

当館ボランティアグループによる
「ボランティア活動報告パネル展」を開催

当館高早稲市道開館
平成24年度(2012年)3月17日
に開館しました。

新緑DIXY会館、当市体協を
迎へ、早稲の平沼あかり中台
ボランティアグループの発表、当
館職員ら活動報告などを行いました。



平成30年3月11日(日)

会場：2階 研修室・多目的室

10:00～10:50 11:00～12:00 12:00～12:40 13:00～13:30 13:40～15:30 15:20～15:50 16:00～16:40	製作班「戦争証書2017」上校会 平沼記念館事業活動報告会 「歴史教育の戦争体験」(平沼記念館長) 「戦争体験語り継ぎ講座」(調査員 飯島真貴) 「学校への平和学習支援」(教育委員 飯島真貴) 運動発表会①「ボランティアグループ」 当館各グループによる特別発表会、(2階多目的室) 「自分たちづくり」運動発表会 戦争体験を聞く会 新緑DIXY会館(高早稲市道市道、開館5周年記念) 「戦争を学んだ経験から」 (元副会館長 宮本浩吉)による体験報告 運動発表会②「ピーススクール」 ピーススクールをとおる活動報告 運動発表会③「ボランティアグループ」 新緑会、人形劇、東京民グループによる公演
--	--

戦争体験を聞く会

○3月1日(日)13:40~15:10

「命を守った鉄がぶと」 次郎宮原・佐友会館での体験談

早瀬 允人 さん(昭和5年生まれ 近江八幡市在住)

戦中時、大阪府内を転々とする間、昭和4年に、近江府立中学校の前身を卒業。その後、
 ①と全県内各地に転居。無事工場として移るが終戦で閉鎖となる。無事帰郷。大阪府内の
 ②で働きながら、戦時製作中は地元の工場勤務する。戦時中は戦時体制に慣れ、先陣
 ③に一生を捧げる体験をされるなど。当時の体験談と戦後の生活についてお話しいただきます。



のちの世の出来事、戦争体験を聞く会のようす

戦い・戦後の暮らしや戦争を知ることに意
 義があると思えます。少しでも時間にな
 げられたいと思っています。
 語り聞かすのが年々少くなる中で、つら
 い記憶や体験を聞かすにたいしたこと
 体とする体験のある方と話し合い、こ
 れからの暮らしに生かしていただくよう
 と相手からお願いしていることは残念な
 ところでありながら、少しでも多くが
 聞かすことを願っています。

(これまでも参加者の皆様より)

平和祈念館ボランティアグループによる

ボランティア活動報告展

2月26日(土)～27日(日)

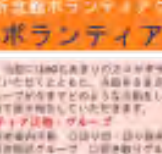
当館、会場に140名を超えるボランティアさんによって開催された。さまざまなグループの活動と
 活動の成果を展示し、活動の意義や活動の現状についてお話しする。

各グループが活動の成果を展示し、活動の意義や活動の現状についてお話しする。

各グループが活動の成果を展示し、活動の意義や活動の現状についてお話しする。

ボランティア活動グループ

①平和祈念館ボランティアグループ ②平和祈念館ボランティアグループ ③平和祈念館ボランティアグループ
 ④平和祈念館ボランティアグループ ⑤平和祈念館ボランティアグループ ⑥平和祈念館ボランティアグループ
 ⑦平和祈念館ボランティアグループ ⑧平和祈念館ボランティアグループ ⑨平和祈念館ボランティアグループ
 ⑩平和祈念館ボランティアグループ ⑪平和祈念館ボランティアグループ ⑫平和祈念館ボランティアグループ



会場：造賀県平和祈念館

(東近江市下平野町の中心)

お問い合わせは造賀県平和祈念館まで。

電話：0749-44-5900

ファックス：0749-44-6100

メールアドレス：info@peacememorial.jp

イベントチラシ



館職員の事業活動報告会の様子



ボランティアによる戦時食の提供の様子



ボランティアによる紙芝居の様子



戦争体験を聞く会（早瀬允人さん）の様子

(7) 館長講座「自分史づくり講座」

- 開催日時 毎月第2土曜日 14:00～15:30
- 参加者 延べ27名
- 事業概要

平成24年（2012年）7月から、自分史づくりをサポートする館長講座「自分史づくり講座」を月1回開催している。講座では、受講者自身が書き進めている自分史の原稿を持参し、館長が文章の表現方法など具体的な助言を行っている。

(8) 映画上映会

【平成27年度より毎月1回実施】

- 開催日時

平成29年（2017年）4月30日、5月28日、6月25日、7月30日、8月27日、9月24日、10月29日、11月26日、12月24日、平成30年（2018年）1月28日、2月25日、3月18日（いずれも13:30～）

- 開催場所 滋賀県平和祈念館 研修室

○上映作品および参加者数

月日	上映作品	参加者
4月30日	ドキュメンタリードラマ「命のビザ 六千人のユダヤ人の命を救った日本領事の決断」	75名
5月28日	ドキュメンタリー映画「花はどこへいった トナム戦争のことを知っていますか」	59名
6月25日	映画「フェイトレス - 運命ではなく -」	68名
7月30日	ドキュメント「パールハーバー 日米の運命を決めた日」	111名
8月27日	映画「菩提樹」	46名
9月24日	映画「続・菩提樹」	39名
10月29日	映画「独裁者」	20名
11月26日	映画「二十四時間の情事 ヒロシマ・モナムール」	51名
12月24日	演劇「南の島に雪が降る」	57名
1月28日	映画「氷雪の門 樺太1945年夏」	34名
2月25日	ドラマ「アンネの日記 ～The Diary of Anne Frank～」	71名
3月18日	映画「陽光桜」	72名

(9) 平和の学校あかり・ピーススクール

○開催日時

平成 29 年（2017 年）5 月 27 日、6 月 4 日、7 月 30 日、8 月 1 日、8 月 6 日、8 月 9 日、8 月 14 日、8 月 19 日、8 月 26 日、10 月 8 日、11 月 11 日、12 月 9 日、平成 30 年（2018 年）2 月 17 日、3 月 11 日の 14 日間

○会員数 63 名 のべ参加者 284 名

○事業内容

① 「難問！クイズラリー（開校講座）」（5 月 27 日）

全 14 回の講座の開校講座を行った。本事業の説明の後、ミニ平和学習や館内見学、バックヤードツアーを実施した。続いて、館内の展示を回るクイズラリーを行い、最後にオリジナル缶バッジづくりも実施した。



バックヤードツアーの様子



クイズラリーの様子

② 「育てて食べよう戦時食Ⅰ」（6 月 4 日）

あいとうマーガレットステーション隣接農園でサツマイモの苗植えを行った後、戦時中に食べられた野草を祈念館周辺で探すネイチャービンゴを行った。最後に戦時食グループのボランティアの方が作った戦時のおやつを試食した。



サツマイモの苗植えの様子



戦時のおやつの試食の様子

③ 「戦時食（すいとん）作り」（7月30日）

戦時食の代表である「すいとん」を調理して試食した。ボランティアの戦時食グループの皆さんの協力で愛東コミュニティーセンター調理室を借用して実施した。戦時の食についての話も聞いた。



すいとん調理の説明の様子



すいとん調理体験の様子

④ 「歴史学習&想像力アップ講座」（8月1日）

歴史学習では日本が歩んだ戦争への道を学習し、創造カード遊びでは、2枚の異なるイラスト入りのカードから共通点を見つけ出してペアを作り、ものの見方を学んだ。



歴史学習の様子



創造カード（カルタ）遊びの様子

⑤ 「戦争体験お話会（広島原爆体験者）」（8月6日）

実際に被爆された方を講師に招き、インタビュー形式でご自身の体験をお話ししていただいた。最後には、質疑応答の時間も用意した。

戦争体験お話会の様子



⑥ 「戦争体験お話会（長崎原爆体験者）」（8月9日）

実際に被爆された方を講師に招き、ご自身の体験をお話していただいた。最後には、質疑応答の時間も用意した。



戦争体験お話会の様子

⑦ 「戦争意識インタビュー体験」（8月14日）

あいとうマーガレットステーションの利用者と来館者（戦争体験聞く会参加者）にアンケート調査を行った。56名に質問し、回答を得ることができた。



あいとうマーガレットステーションでのインタビュー体験の様子



来館者へのインタビュー体験の様子

⑧ 「新聞記事切り抜き作品作り」（8月19日）

中日新聞社 NIE 事務局の方を講師に招いて実施した。戦争関連の記事を集めて、自分の決めたテーマに合わせて作品を制作した。



制作の様子



制作の様子

⑨ 「戦跡めぐり in 舞鶴」(8月26日)

舞鶴に残る戦争の跡をバスで巡った。舞鶴引揚記念館では、学芸員の方にシベリア抑留についてお話をしていただいた。舞鶴赤れんがパーク、海軍記念館、海上自衛隊北吸栈橋を見学した。



舞鶴引揚記念館での平和学習の様子



海上自衛隊北吸栈橋の見学の様子

⑩ 「育てて食べよう戦時食Ⅱ」(10月8日)

あいとうマーガレットステーション隣接農園でサツマイモの収穫をした後、そのサツマイモで戦時食を作る調理、試食体験を実施した。



サツマイモ収穫の様子



戦時食調理体験の様子

⑪ 「滋賀の戦跡めぐり in 湖北」(11月11日)

滋賀県の湖北に残る戦争の跡をバスで巡った。米原列車避難壕では、米原市岩脇町づくり委員会の方に案内をしていただいた。その他、迷彩倉庫や大依山射撃場跡、国友鉄砲資料館などを見学した。



米原列車避難壕の見学の様子



大依山射撃場跡（監的壕跡）の見学の様子

⑫ 「戦時のくらし体験」

(12月9日)

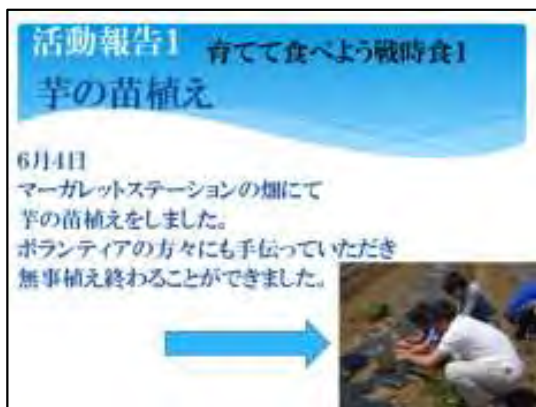
終戦を小学校5年生で迎えられた方を講師に招き、当時の遊びやくらしについて、お話をしていただいた。ご自身が使用されていた教科書やノートなどを触れながら見せていただく時間も設けることができた。



講座の様子

⑬ 「プレゼン力アップ講座」(2月17日)

Microsoft PowerPoint の簡単な使い方を学んだ後、ピーススクールで学んだ戦争や平和への思いをスライドにまとめた。



子どもたちの作品



子どもたちの作品

⑭ 「ピーススクール活動報告会」(3月11日)

周年事業の中でピーススクールの活動発表の時間を設け、前回の「プレゼン力アップ講座」でまとめたものを発表した。その後にピーススクールの閉校式を行い、講座を5回以上参加した方に、館長から修了証書及び記念品を授与した。



ピーススクール生 体験報告の様子



終了証書、記念品の授与の様子

(10) 平和を願う子どもピースメッセージ絵画コンクール

○展示期間 平成29年(2017年)11月4日～平成30年(2018年)1月28日

○表彰式 平成29年(2017年)11月4日

○事業概要

次世代を担う子ども達が、戦争と平和をテーマにした絵を描くことにより、戦争の悲惨さや平和の尊さを考えるきっかけとするとともに、子ども達が描く絵画を通して、広く県民に平和への想いを伝えることを目的として実施した。今回、県内の小学校5年生から中学生を対象に作品を募集したところ、県内小・中学校23校から513作品の応募があった。

○入賞者

各 賞	学 校 名	学 年	氏 名
ピース賞(小学校)	草津市立草津第二小学校	第6学年	みやもと りこ 宮本 理子
ピース賞(中学校)	立命館守山中学校	第1学年	おがわ はる 小河 陽
ハート賞(小学校)	草津市立草津第二小学校	第6学年	みやぞの かな 宮園 環那
ハート賞(中学校)	東近江市立船岡中学校	第1学年	やすい ゆうと 安井 優斗

オリーブ賞（小学校）	東近江市立八日市南小学校	第 6 学年	みやがわ ゆう が 宮川 悠雅
オリーブ賞（中学校）	守山市立明富中学校	第 3 学年	みなみばやし さくら 南 林 桜

※各賞について

ピース賞・・・滋賀県平和祈念館の理念と合致していることや祈念館の事業を推進するうえで効果的な作品

ハート賞・・・制作者の平和への思いを画面に意欲的に工夫し、効果的に表現している作品

オリーブ賞・・・平和への思いを自分らしい発想や構想で表現し、線画や色使いの技能が優れている作品

各賞	作 品	制作者の思い
ピース賞（小学校）		「戦争を忘れる時、戦争がまたおそう」のように戦争を忘れてしまうと平和が保たれないので世界中の平和を続けよう！という思いを表しました。平和を続けたいという願いです。
ピース賞（中学校）		「バトン」＝「受け継ぐ」という意味です。平和を若い世代に受けついでほしいというメッセージを入れました。
ハート賞（小学校）		一羽の鳥が地球をつくるのを守っているという感じでかきました。よい地球をつくっていく、優しい心でつくっていこうという願いをこめました。小さい子も赤ちゃんも大人も優しい心でもって地球を守ろうという気持ちです。
ハート賞（中学校）		戦争を見た時、みんなは泣くと思ってなみだをえがきました。人は失敗から次に進むのでなみだから花を咲かし、平和をイメージしました。未来を少しは考えてから行動することが大切です。

オリーブ賞（小学校）		宇宙にも広がる、ひびきわたる「地球の平和」をイメージして描きました。中央には平和のシンボルの白いハトを描きました。
オリーブ賞（中学校）		青い海のように何の汚れもないところに「平和」は生まれると思います。みんなが「平和」を願う世界になってほしいと思いながら描きました。

4 平和学習支援事業

(1) 来館学習の支援

○来館学校数 実績

	総数	小学校	中学校	高等学校
学校数	43 校	37 校	5 校	1 校
児童・生徒数	2,466 人	1,779 人	617 人	70 人

○主な方法

- ・ 展示見学
(学校が作成するワークシートや当館職員が作成したクイズラリーを用いての調べ学習)
- ・ 館の職員によるミニ講座
- ・ 戦争体験者によるお話会
- ・ 戦時食体験



来館学習での展示見学の様子



研修室での平和学習

(2) 出前授業

○出前授業実施校 実績

	総数	小学校	中学校	高等学校	大学
学校数	96 校	69 校	17 校	8 校	2 校
児童・生徒数	8,664 人	5,287 人	1,390 人	1,511 人	476 人

○主な方法

- ・実物や写真・動画の提示
- ・体験談の提示
- ・資料観察



出前授業での様子（東大津高校）



出前授業での様子（東大津高校）

(3) 地域への平和学習支援

戦後 73 年、「戦後 70 年」とメディアなどで取り上げられていた 3 年前と比べると若干熱も冷めてきたように感じるが、戦争を体験していない大人が増え、「子どもたち」とともに「大人」への語り継ぎが重要になることを踏まえて、公民館や地域の自治会などの団体などからの要望に応じた平和学習支援として、地域への出前授業を実施した。

平成 29 年度においては、36 団体、1,485 人の利用があった。

○主な内容

- ・「滋賀への空襲」
- ・「滋賀にまつわる戦争の記録」
- ・「戦争と滋賀」



地域での出前授業の様子

(4) 資料の貸出による平和学習支援

滋賀県平和祈念館では、学校や地域への平和学習を支援するために、実際に手にとって触れるハンズオン資料やパネル、アニメ画入りの戦時体験映像の貸出を行っている。

平成 29 年度は、新たに「戦争体験者証言映像(2017)」を制作し、平成 30 年度から貸出を始める。

学校への貸出の傾向としては、視聴覚資料の貸出が多い。地域への貸出としては、今年度に貸出を始めた「戦争体験者証言映像(2016)」の貸出数が多かった。また、平成 29 年度も夏期にパネルの貸出が集中する傾向にあった。

○資料貸出しの実績

①学校への貸出 26 校

区分	総数	小学校	中学校	高等学校
学校数	26 校	21 校	4 校	1 校
児童・生徒数	1,140 人	494 人	645 人	1 人

②地域への貸出 51 件

○貸出資料の種類

- ① ハンズオン資料…千人針、臨時召集令状（複製）、出征たすき、防空頭巾、配給切符、慰問袋、鉄かぶと、ゲートル、国防婦人会たすき、いなご採り袋、雑誌「週刊少国民」（ラミネート版）、カルタ「戦ふ日本カルタ」（ラミネート版）、双六「大東亜共栄圏めぐり」（ラミネート版）出征のぼり（右写真）

② パネル…A セット（16 枚組）

B セット（20 枚組）

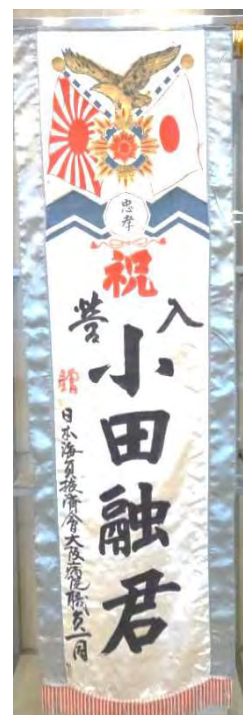
C セット（16 枚組）＜滋賀で学ぶ戦争の記録＞

写真・ポスター類（64 枚）

③ 小学校国語科読み物教材「一つの花」対応セット

④ 視聴覚資料

- ・滋賀県民の戦争体験証言ビデオ「記憶の湖（うみ）17 本」
- ・小中学校向けアニメ画入りの戦争体験証言映像
「大阪から来た女の子」「滋賀県満州報国農場の若者たち」
- ・2014、2015、2016、2017 年度制作の戦争体験者証言映像（DVD 版・BD 版）
- ・その他、戦争や平和に関するビデオ・DVD



(5) 戦争体験者証言映像の制作

戦争体験者の体験談を記録・保存するとともに、広く県民に戦争の悲惨さや平和の大切さを学ぶための映像教材として、戦争体験者証言映像の制作を当館で企画し、委託事業によって制作した。平成 26 年度から事業を開始して、これまでに 3 作品を制作した。引き続き、今年度は 5 名の体験者にご協力をいただいて、『戦争証言 2017』を制作した。本作品は以下の 3 本の映像にまとめている。

また、本作品は平成 30 年 3 月 11 日の『開館 6 周年記念事業』においてお披露目上映会を開催し、好評を得た。

『戦争体験者証言映像 戦争証言 2017』DVD・Blue-ray

「大陸に彷徨う日々」	西川 新五良さん・大西 義生さん (21 分)
「ひたすら任務を信じ」	小川 常三さん・南田 覚さん (20 分)
「滋賀と戦争」	小森 章次さん (17 分)



戦争体験者 証言映像

戦争証言 2017

常軌を失った日々 滋賀と戦争

祖父が体験した戦争、死んでくると約束する若者を人々は歓喜で見送った命が奪われることはなかった

戦争を経験された方が少なくなり、戦争の記憶も忘れられつつあります。滋賀県平和祈念館では、貴重な戦争体験者のお話を映像として残すとともに、戦争の記憶を語り継ぎ、平和の尊さを学ぶための資料として証言映像を作成しました。

滋賀県平和祈念館

戦争体験者 証言映像 戦争証言 2017 映像内容のご紹介

映像 1	映像 2	映像 3
大陸に彷徨う日々 ～中国での行軍、ソビエト連邦へ～	ひたすら任務を信じ ～ヒルマール山の日本軍～	滋賀と戦争 ～八日市飛行場の思い出～
戦争当時、多くの兵士が激戦地へ送られた。中国では南京から南方の戦線へと大規模な行軍に送られた。兵士たちは様々な苦難を乗り越えてきた。戦線では多くの兵士が戦死し、空襲を受けた。戦後の日本では多くの兵士がソビエト連邦に送られた。戦後の日本では多くの兵士がソビエト連邦に送られた。戦後の日本では多くの兵士がソビエト連邦に送られた。	多くの兵士が命を失った。ヒルマール山では、日本軍が任務を遂行するための激戦が繰り出された。しかし、戦線では多くの兵士が戦死し、空襲を受けた。戦後の日本では多くの兵士がソビエト連邦に送られた。戦後の日本では多くの兵士がソビエト連邦に送られた。	八日市飛行場には日本軍の八日市飛行場があった。戦中に一度の飛行場閉鎖では、一般の人々に施設が開放された。しかし、戦争が激化すると、八日市飛行場の施設は再び一般の人々に開放されなかった。八日市飛行場の施設は再び一般の人々に開放されなかった。
【証言者】 西川 新五良 さん 大西 義生 さん	【証言者】 小川 常三 さん 南田 覚 さん	【証言者】 小森 章次 さん

戦争証言シリーズのご紹介

戦争証言 2015	戦争証言 2016
戦争証言 2015 (2015年制作) 映像1 大戦に送られたことと戦後 映像2 戦後 死を告げられた戦争 映像3 戦後 戦後の生活では	戦争証言 2016 (2016年制作) 映像1 戦後 戦後の生活では 映像2 戦後 戦後の生活では 映像3 戦後 戦後の生活では

【映像の貸出し・お問い合わせ先】
映像の貸出し・お問い合わせは、滋賀県平和祈念館までお願いします。また、貸出し手数料に関するお問い合わせは、滋賀県平和祈念館までお願いします。

滋賀県平和祈念館

〒527-0157 滋賀県東近江市下中町4-3-1 1階
開館時間 10時30分～17時
休館日 月曜日・火曜日（祝日にあたる場合は休館）
入館料 無料
その他、業務の都合により休館する場合があります。
電話番号 : 0749-48-0300
FAX番号 : 0749-48-0300
E-mail : peace@pref.saga.lg.jp

戦争体験者映像『戦争証言 2017』チラシ

5 ボランティア活動支援事業

当館では、開館に先立って平成 23 年度より当館の活動に参加いただけるボランティアの募集を開始した。平成 29 年度においては、新たにボランティア登録の申込があった方を対象とした「ボランティア登録講座」を 2 回開催（5、11 月）し、4 名の方が新たにボランティア登録をされた。平成 29 年度末現在におけるボランティア登録者数は 48 名で、年齢層は 10 代から 80 代の幅広い世代の方に登録いただいている。

具体的な活動内容としては、来館者案内活動、戦時食体験活動、手紙等解読活動、紙芝居や寸劇を上演する演劇活動、情報紙「平和の灯」を制作する活動など、各グループの活動が積極的に進められている。また、開館周年記念事業などの館事業への協力なども継続して行われている。

ボランティアの様々な経験に基づいた知識や技術、さらにはその主体的な活動を通して、当館の活動の幅は確実に広がり、多様なものとなっている。今後ともボランティア活動を通して、利用者と積極的に交流していただき、さらには『利用者と館とをつなぐかけ橋』の役割を担っていただくことを期待する。また、平和祈念館ではそのためのサポートを続けていく。

○ボランティア活動の紹介

来館者案内活動グループ	館内での来館者との交流や案内をします。
戦時食グループ	食べるものがなかった戦争末期から戦後の生活苦を感じ、「食」の大切さについて考えます。
演劇グループ	平和や戦争をテーマにした紙芝居・人形劇・寸劇を創作し、上演する活動をします。
手紙等解読グループ	戦争中の手紙や日記などを、読みやすいように解読する作業をします。
聞き取りグループ	戦争体験者の方からお話を聞き、記録する活動をします。
情報紙制作活動グループ	情報紙「平和の灯」を制作します。
大凧づくりグループ	東近江大凧まつりに向けて、ミニ大凧（2 畳）をつくり、平和への願いや当館の活動を P R します。



ボランティア登録講座



来館者への案内活動



ピーススクールでの戦時食体験活動



周年事業での創作劇の上演



手紙等解読活動



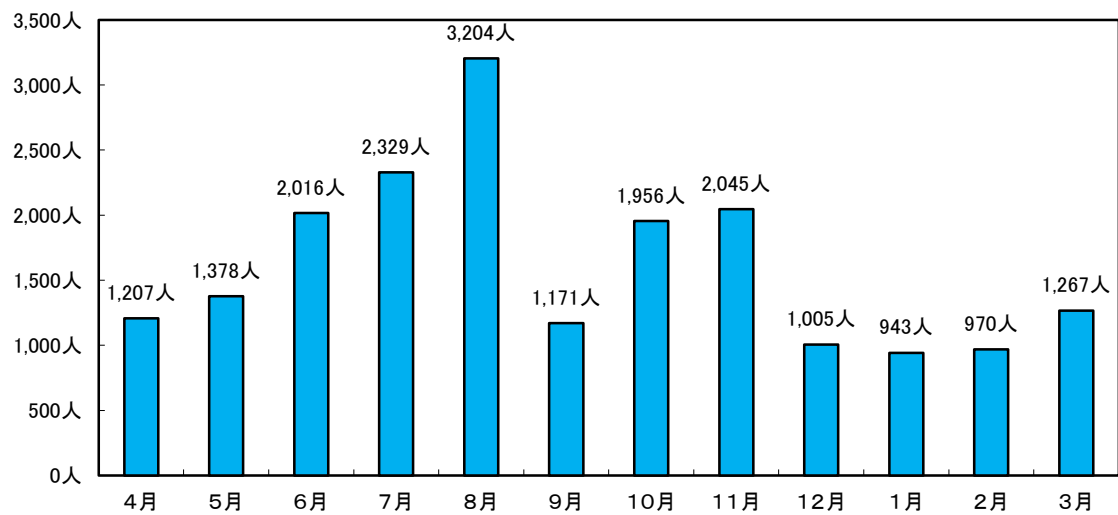
情報紙「平和の灯」

Ⅱ 資料

1 利用状況

(1) 月別来館者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	開館からの 累計
開館日数	19日	21日	22日	26日	31日	20日	22日	22日	18日	18日	21日	23日	263日	1594日
来館者数	1,207人	1,378人	2,016人	2,329人	3,204人	1,171人	1,956人	2,045人	1,005人	943人	970人	1,267人	19,491人	147,430人
1日あたりの 平均来館者数	64人	66人	92人	90人	103人	59人	89人	93人	56人	52人	46人	55人	74人	92人



(2) 来館学校一覧

月	日	学 校 等 名 称	人数
平成29 6	14	守山市立守山南中学校	400
	15	高島市立今津北小学校	20
	16	東近江市立八日市南小学校	88
	28	甲賀市立甲賀中学校	85
	29	東近江市立愛東南小学校	19
	29	東近江市立愛東北小学校	16
	30	東近江市立山上小学校	27
	30	東近江市立市原小学校	16
10	6	近江八幡市立武佐小学校	28
	10	竜王町立竜王小学校	79
	12	米原市立坂田小学校	82
	13	東近江市立箕作小学校	79
	19	近江兄弟社高等学校・単位制	70
	20	東近江市立湖東第一小学校	23
	26	東近江市立御園小学校	83
	27	東近江市立湖東第二小学校	39
	30	愛荘町立愛知川小学校	93
	31	東近江市立能登川北小学校	12
11	1	東近江市立八日市北小学校	78
	2	東近江市立五個荘小学校	107
	7	長浜市立南郷里小学校	99
	8	多賀町立多賀小学校	64
	9	東近江市立八日市西小学校	39
	10	東近江市立能登川東小学校	71
	14	守山市立明富中学校	20
	15	東近江市立玉緒小学校	31
	15	米原市立伊吹山中学校	75
	16	東近江市立布引小学校	41
	17	東近江市立湖東第三小学校	34
	22	東近江市立愛東北小学校	16
	22	東近江市立愛東南小学校	19
	24	豊郷町立豊郷小学校	44
	24	東近江市立蒲生東小学校	32
	29	東近江市立蒲生西小学校	53
	30	東近江市立蒲生北小学校	60
12	1	東近江市立山上小学校	27
	1	東近江市立市原小学校	16
	6	長浜市立びわ北小学校	23
	7	東近江市立能登川西小学校	28
	8	東近江市立能登川南小学校	106
	8	湖南市立下田小学校	49
	13	愛荘町立秦荘東小学校	38
平成30 3	15	東近江市立愛東中学校	37

43校 2,466人

(3) 出前授業実施団体

月	日	学 校 等 名 称	人数
平成29 5	10	滋賀大学教育学部	116
	31	滋賀県立伊吹高等学校	160
6	2	東近江市立永源寺中学校	52
	12	大津市立南郷小学校	84
	15	滋賀県立守山中学校	80
	21	滋賀県立栗東高等学校	234
	22	栗東市立治田東小学校	84
	28	草津市立草津第二小学校	111
7	7	東近江市立八日市西小学校	39
	12	栗東市立大宝東小学校	80
	25	学習支援メニューフェア in 近江八幡(小学校)	9
	25	学習支援メニューフェア in 近江八幡(中学校)	3
8	22	滋賀県立豊話学校・小学部	13
9	4	長浜市立南郷里小学校	95
	5	草津市立笠縫小学校	83
	6	野洲市立野洲小学校	131
	15	大津市立青山小学校	120
	20	長浜市立長浜北小学校	130
	21	近江八幡市立老蘇小学校	24
	22	近江八幡市立桐原小学校	84
	26	近江八幡市立馬淵小学校	30
	27	彦根市立高宮小学校	75
	28	大津市立晴嵐小学校	119
	28	彦根市立河瀬小学校	79
	29	湖南市立水戸小学校	73
	29	東近江市立玉緒小学校	31
10	2	大津市立志賀小学校	120
	3	大津市立平野小学校	200
	3	大津市立逢坂小学校	70
	4	大津市立小松小学校	33
	5	大津市立真野小学校	68
	5	大津市立石山小学校	100
	10	近江八幡市立八幡小学校	132
	11	大津市立真野北小学校	30
	13	多賀町立多賀小学校	64
	16	東近江市立八日市北小学校	78
	17	守山市立吉身小学校	112
	17	高島市立本庄小学校	18
	18	滋賀県立信楽高等学校	60
	18	大津市立瀬田小学校	160
	19	湖南市立菩提寺小学校	69
	20	大津市立小野小学校	24
	24	大津市立中央小学校	40
	24	大津市立瀬田南小学校	142
	25	高島市立安曇小学校	56
	25	高島市立新旭北小学校	46
	26	草津市立笠縫東小学校	74
	27	彦根市立城南小学校	118
	27	近江八幡市立北里小学校	49
	31	近江八幡市立金田小学校	152
	31	滋賀県立膳所高等学校	40

月	日	学 校 等 名 称	人数
11	1	東近江市立玉園中学校	124
	2	野洲市立北野小学校	81
	6	甲賀市立大原小学校	34
	7	東近江市立山上小学校	27
	8	草津市立矢倉小学校	97
	9	米原市立伊吹山中学校	58
	9	愛荘町立秦荘西小学校	43
	10	豊郷町立豊日中学校	70
	13	湖南市立菩提寺北小学校	43
	14	大津市立和邇小学校	58
	14	大津市立藤尾小学校	40
	15	滋賀県立守山北高等学校	153
	16	守山市立守山小学校	181
	17	愛荘町立秦荘東小学校	36
	20	長浜市立長浜北小学校	145
	22	MIHO美学院中等学校	130
	27	甲賀市立伴谷小学校	75
	27	甲賀市立貴生川小学校	120
	29	びわこ学院大学	360
	30	長浜市立浅井小学校	44
12	1	彦根市立鳥居本小学校	25
	4	彦根市立旭森小学校	146
	5	長浜市立富永小学校	13
	5	長浜市立びわ南小学校	52
	12	甲賀市立雲井小学校	20
	15	草津市立志津小学校①	136
	19	草津市立志津小学校②（遠隔授業）	136
	20	野洲市立祇王小学校	101
平成30 1	12	滋賀県立野洲養護学校	1
	15	近江兄弟社高等学校	334
	18	滋賀県立守山養護学校	4
	22	湖南市立日枝中学校①	78
	26	湖南市立日枝中学校②	38
	29	甲賀市立信楽中学校	86
	30	栗東市立大宝東小学校	80
2	5	東近江市立能登川中学校①	66
	7	日野町立日野小学校	100
	7	東近江市立能登川中学校②	98
	8	東近江市立能登川中学校③	64
	9	東近江市立聖徳中学校①	105
	14	東近江市立聖徳中学校②	105
	23	日野町立日野中学校	180
3	7	湖南市立石部中学校	122
	13	滋賀県立東大津高等学校	400
	16	愛荘町立秦荘中学校	61

96校 8,664人

2 広報活動

新聞等報道記録（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

月	日	内 容	報道機関
平29 4	4	平和祈念館コラム 新年度をむかえての決意 -開館5周年を感謝して-	滋賀報知新聞
	14	読者の声 戦争遺跡 八日市巡り感慨	京都新聞
	14	八日市 いまむかし -飛行場があった街-	読売新聞
	15	戦争体験を聞く会	京都新聞
	21	展示「シベリア抑留-ユネスコ世界記憶遺産舞鶴引揚祈念館所蔵品より-」	朝日新聞
	25	催しクリップ 開館5周年記念特別展示「シベリア抑留-ユネスコ世界記憶遺産舞鶴引揚祈念館所蔵品より-」	滋賀報知新聞
	25	展示「シベリア抑留-ユネスコ世界記憶遺産舞鶴引揚祈念館所蔵品より-」	京都新聞
	30	映画上映会	京都新聞
5	2	ボランティアを募集	読売新聞
	3	戦争体験を聞く会、映画上映会	広報ひがしおうみ
	6	戦争証言2016 完成	滋賀報知新聞
	7	記念企画「シベリア抑留」 世界記憶遺産登録の品々で蘇る 舞鶴引揚記念館協力	滋賀報知新聞
	9	平和祈念館コラム 「シベリア抑留」	滋賀報知新聞
	9	小6・中3の体験学習 ピーススクール開講	滋賀報知新聞
	9	抑留過酷さ 次代へ 「世界の記憶」シベリア資料展示	京都新聞
	10	催しクリップ 戦争体験を聞く会	滋賀報知新聞
	12	シベリア抑留知って 県平和祈念館 体験者の絵展示	中日新聞
	13	戦争体験を聞く会	京都新聞
	17	ボランティア登録講座	滋賀報知新聞
	18	特別展示関連映画上映会、映画上映会、戦争体験を聞く会	滋賀プラスワン
	18	映画上映会	京都新聞
	19	平和祈念館コラム 「シベリア抑留」	滋賀報知新聞
	19	シベリア抑留 展示で継ぐ	朝日新聞
	20	跡地の特定法紹介 八日市飛行場 県平和祈念館職員が講演	中日新聞
	20	記念企画「シベリア抑留」 世界記憶遺産登録の品々で蘇る 舞鶴引揚記念館協力	滋賀報知新聞
	21	戦争体験 公表法を模索 平和祈念館 聞き取り、語り部会重ね	毎日新聞
	22	ベトナム戦争を取材 花はどこへいった（映画上映会）	滋賀報知新聞
	25	映画上映会	京都新聞
	27	「語り残したい」「知りたい」要望強まるも 県民の戦争体験をどう生かす	産経新聞
	27	戦争証言聞きDVDを制作	中日新聞
	31	開館5周年記念特別展示関連映画上映会、戦争体験を聞く会、映画上映会、自 づくり講座、平和の学校あかり・ピーススクール	広報ひがしおうみ
6	4	蒸気機関車避難壕と平和学習 米原駅周辺の戦争遺跡	教育しが

月	日	内 容	報道機関
6	6	平和祈念館コラム 背囊の肩紐に隠したタバコの紙 - 県民のシベリア抑留	滋賀報知新聞
	7	催しクリップ 戦争体験を聞く会	滋賀報知新聞
	9	平和祈念館コラム 背囊の肩紐に隠したタバコの紙 - 県民のシベリア抑留	滋賀報知新聞
	9	催しクリップ 戦争体験を聞く会	滋賀報知新聞
	18	映画上映会	京都新聞
	20	映画上映会「フェイトレス」	滋賀報知新聞
7	1	戦争体験を聞く会、映画上映会	広報ひがしおうみ
	4	平和祈念館コラム 子ども向け体験学習「平和の学校あかり・ピーススクール」	滋賀報知新聞
	12	催しクリップ 戦争体験を聞く会	滋賀報知新聞
	15	戦争体験を聞く会	京都新聞
	17	「戦友の顔浮かぶ。戦争は間違い」シベリア抑留体験画描いた木内さん	京都新聞
	21	平和祈念館コラム 子ども向け体験学習「平和の学校あかり・ピーススクール」	滋賀報知新聞
	28	映画上映会	京都新聞
	30	映画上映会	滋賀報知新聞
	31	すいとん味わい子ら平和に感謝 東近江で催し	京都新聞
8	1	平和の学校あかり・ピーススクール	滋賀プラスワン
	7	89歳「戦争いけん」 県平和祈念館 親子に被爆体験	朝日新聞
	8	名品手鑑 滋賀の博物館美術館探訪 戦争の記憶次代の県民へ	毎日新聞
	10	戦争と平和 考えよう 終戦の日 各地で集会や写真展	毎日新聞
	10	平和を考える3日間 映画・体験談・セレモニーなどで	滋賀報知新聞
	11	平和を祈念する日の催し	朝日新聞
	11	原爆投下前後の様子 今に	中日新聞
	11	平和祈念館コラム 平和を祈念する日事業「今こそ語ろう、語り継ごう！戦争のことを…」	滋賀報知新聞
	11	シベリア抑留/中国出征 戦争の記憶を後世に	読売新聞
	12	語り継ぐ 戦後72年 遺品 行き場は 寄付が急増 受け皿に限度	中日新聞
	14	Peace!2017しが 甲賀の古川さん戦時中の教育など講演	毎日新聞
	14	後世に語り継ぐ 死ぬこと怖くなかった 今思うと恐ろしい	産経新聞
	14	軍国教育 体験を語る 県平和祈念館 あすまで催し	中日新聞
	14	大半戦死「戦争終わったから生きられた」 東近江・県平和祈念館で体験者講演	京都新聞
	15	戦争体験者からの伝言 県平和祈念館で展示	朝日新聞
	15	被爆 広島と長崎のあの日 「生きた証拠」隠さない 全て消えた昨日のよう	朝日新聞
	15	シベリア抑留 資料は語る 東近江で展示 水筒や防寒着320点	読売新聞
	16	終戦72年 各地で追悼 尊い普通の暮らし 元陸軍少年通信兵 村田さん平和語る	朝日新聞
	24	映画上映会	京都新聞

月	日	内 容	報道機関
9	5	平和祈念館コラム 滋賀県平和祈念館 第18回企画展示 「戦時の暮らし モノがたり -もの不足 食糧不足-	滋賀報知新聞
	5	企画展示 「戦時の暮らし モノがたり -もの不足 食糧不足-	京都新聞
	8	戦争体験を聞く会	京都新聞
	8	戦争体験を聞く会	朝日新聞
	8	平和祈念館コラム 滋賀県平和祈念館 第18回企画展示 「戦時の暮らし モノがたり -もの不足 食糧不足-	滋賀報知新聞
	20	戦中供出の釣り鐘展示 耐乏生活を代用品や体験談で紹介	滋賀報知新聞
	23	映画会	京都新聞
	27	戦時食つくりや戦跡めぐり ピーススクール開講	滋賀報知新聞
	29	戦中供出の釣り鐘展示 耐乏生活を代用品や体験談で紹介	滋賀報知新聞
10	1	講演会「梵鐘を守れ！ 文化財保護をめぐる戦時下の裏面史」	広報ひがしおうみ
	13	梵鐘を守れ！ 戦時下の裏面史	滋賀報知新聞
	13	戦争体験を聞く会	京都新聞
	20	平和学習講座	中日新聞
	20	平和学習講座「梵鐘を守れ！ 文化財保護をめぐる戦時下の裏面史」	朝日新聞
	22	県平和祈念館 「映画上映会」 「独裁者」など	滋賀報知新聞
11	1	戦争体験を聞く会、映画上映会	広報ひがしおうみ
	7	滋賀県平和祈念館 ボランティアの紹介	滋賀報知新聞
	8	県平和祈念館 ボランティア募集	滋賀報知新聞
	17	滋賀県平和祈念館 ボランティアの紹介	滋賀報知新聞
12	5	【体験談の紹介（第18回企画展示関連）焼き物の地雷・手榴弾作りを手伝いました】	滋賀報知新聞
	6	戦争体験を聞く会	滋賀報知新聞
	8	戦争の記憶 耳を傾けて 真珠湾攻撃から76年	朝日新聞
	8	真珠湾の記憶 風化させぬ 「お国のため」母思い死んだ兄 きょう開戦76年	朝日新聞
	9	戦争体験を聞く会	京都新聞
	10	平和を願う子どもピースメッセージ絵画	滋賀報知新聞
	15	【体験談の紹介（第18回企画展示関連）焼き物の地雷・手榴弾作りを手伝いました】	滋賀報知新聞
	15	平和学習講座 戦争遺跡分布調査報告会	滋賀報知新聞
	16	戦争遺跡分布調査報告会	京都新聞
	21	映画上映会	京都新聞
	26	戦争体験を聞く会 家族を奪った豊栄丸の沈没	滋賀報知新聞
平30	1	5 写真でみる戦時下のムラ 故・晝田氏が残した貴重な写真	滋賀報知新聞
		9 6度目のあたらしい年を迎えて	滋賀報知新聞
		12 戦時下の農村 写真で伝える	毎日新聞

月	日	内 容	報道機関
1	19	戦時下のムラ 人と風景 現代に伝える写真約90枚	報知写真新聞
	-	戦争遺跡分布調査報告会	デュエット126号
2	4	戦中の日章旗、遺族へ返還 東近江など3市町の3遺族	滋賀報知新聞
	7	歴史と平和 中学生が形に 折り鶴3万羽 パネルに	朝日新聞
	7	平和祈念館コラム 平和学習支援の取り組み	滋賀報知新聞
	12	戦争繰り返してはいけない 「零戦」で出撃 体験語る	読売新聞
	16	平和祈念館コラム 平和学習支援の取り組み	滋賀報知新聞
	17	戦争遺跡分布調査報告会	京都新聞
3	2	永遠の平和を！ 3万羽の折り鶴でモニュメントを	滋賀報知新聞
	6	平和祈念館コラム 開館6周年事業	滋賀報知新聞
	10	開館6周年事業	京都新聞
	10	開館6周年事業	滋賀報知新聞
	10	明日11日、開館6周年の催し 戦争体験談や活動発表など	滋賀報知新聞
	12	「湖国、出兵で多くの犠牲」 県平和祈念館6周年記念事業	京都新聞
	30	平和願うピンクの花 被爆桜 東近江で見頃	中日新聞
	30	今年も開花 「被爆桜」 県平和祈念館	滋賀報知新聞
	31	戦争体験者証言映像を制作 シベリア抑留、八日市飛行場の思い出など 平和学習や人権研修で貸し出し	滋賀報知新聞

3 組織（平成30年3月現在）

(1) 職員

館長	端 信行
副館長	村井 洋一
専門員	伊庭 功
副主幹	梅山 光彦
副主幹	佐藤 誠治
主査	木村 直人
主任主事	西堀 公範
嘱託員	坂井 秀男
嘱託員	日高 昭子
臨時的任用職員	近藤 恵

(2) 職員構成

区分	館長	行政職	学芸員	教育職	嘱託・臨職	合計
人数	1	3	1	2	3	10

(3) 滋賀県平和祈念館運営会議

座長	端 信行（滋賀県平和祈念館 館長）
委員	中島 伸男（東近江市戦争遺跡の会 世話役）
	中井 均（滋賀県立大学 教授）
	岸田 孝一（一般財団法人滋賀県遺族会 会長）
	吉岡 登（東近江市立愛東コミュニティセンター 館長）
	増田 隆（NPO 法人愛のまちエコ倶楽部 事務局長 あいとうエコプラザ菜の花館 館長）
	瀧澤 和久（東近江市企画部企画課 課長）
	畑 清（滋賀県平和祈念館ボランティアの会 会長）
	中澤 光子（滋賀県平和祈念館ボランティアの会 副会長）

(4) 滋賀県平和祈念館展示等監修委員

委員	原田 敬一（佛教大学 教授）
	原山 浩介（国立歴史民俗博物館 准教授）

4 決算（平成29年度）

○歳入状況

（単位：円）

科 目	決 算 額
基 金 繰 入 金	33,177,676
諸 収 入	1,182,745
合 計	34,360,421

○歳出状況

（単位：円）

事 業 名	主 な 事 業 内 容	決 算 額
管 理 運 営 費	施設維持管理費、施設運営費、事務費、広報費	26,174,937
展 示 事 業	企画展示、特別企画展示、地域交流展示	2,192,836
資 料 収 集 保 存 事 業	収蔵資料防虫防かび対策、研究図書購入、 収蔵資料等デジタルデータ管理・公開システムの運用	1,830,234
普 及 啓 発 事 業	平和学習講座、戦争体験を聞く会、戦争遺跡見学FW、 平和の学校あかり・ピーススクール	942,057
平 和 学 習 支 援 事 業	平和学習支援教材作成	3,220,357
合 計		34,360,421

5 施設概要

○所在地 滋賀県東近江市下中野町 431 番地

○建物概要

構 造	鉄筋コンクリート	2 階建
敷地面積	2, 8 6 4. 0 0 m ²	
延床面積	3, 1 1 5. 4 5 m ²	
	1 階	1, 7 5 9. 0 3 m ²
	2 階	1, 3 5 6. 4 2 m ²

○開館年月日 平成 24 年 3 月 17 日

○平面図



6 利用案内

- 入館料 無料
- 開館時間 午前 9 時 30 分から午後 5 時
- 休館日 月曜日および火曜日（ただし祝日にあたる場合は開館）
年末年始（12 月 28 日～1 月 4 日）
※その他、業務の都合により休館する場合があります。
- 駐車場 約 50 台（無料）
- アクセス



- ・名神高速道路「八日市 I C」から車で約 10 分
- ・JR 琵琶湖線(東海道線)彦根駅または近江八幡駅乗り換え、近江鉄道八日市駅からバスで約 20 分「愛東支所・診療所前」下車すぐ

7 関係規程

滋賀県平和祈念館の設置および管理に関する条例

平成 23 年滋賀県条例第 48 号

(設 置)

第 1 条 県民に戦争の悲惨さおよび平和の尊さを伝えることにより、平和を願う豊かな心を育み、もって平和な社会の発展に資するため、滋賀県平和祈念館（以下「平和祈念館」という。）を東近江市下中野町に設置する。

(業 務)

第 2 条 平和祈念館は、次に掲げる業務を行う。

- (1) 県民の戦争に関する体験の記録その他の資料（電磁的記録（電子的方式、磁気的方式その他の知覚によっては認識することができない方式で作られた記録をいう。）を含む。以下「資料」という。）を収集し、保管し、展示し、および利用に供すること。
- (2) 平和を願う豊かな心を育むために必要な普及啓発を行うこと。
- (3) その他平和祈念館の設置の目的を達成するために必要な業務

(開館時間等)

第 3 条 平和祈念館の開館時間は、午前 9 時 30 分から午後 5 時までとする。

2 平和祈念館の休館日は、次のとおりとする。

- (1) 月曜日および火曜日（国民の祝日に関する法律（昭和 23 年法律第 178 号）に規定する休日である場合を除く。）
- (2) 12 月 28 日から翌年の 1 月 4 日までの日

3 知事は、必要と認めるときは、第 1 項に規定する開館時間を変更し、または前項に規定する休館日を変更し、もしくは臨時に休館日を定めることができる。

(特別観覧の許可)

第 4 条 平和祈念館が保管する資料の熟覧、模写、模造、撮影その他の利用（以下「特別観覧」という。）をしようとする者は、規則で定めるところにより、知事に申請し、その許可を受けなければならない。許可を受けた事項を変更しようとするときも、同様とする。

2 知事は、前項の規定による申請があった場合において、次の各号のいずれかに該当するときは、同項の許可をしないことができる。

- (1) 平和祈念館における秩序を乱し、または善良な風俗を害するおそれがあると認められるとき。
- (2) 資料または平和祈念館の管理上支障があると認められるとき。

- (3) その他特別観覧を許可することが適当でないと認められるとき。
- 3 知事は、第1項の規定による許可をする場合においては、資料または平和祈念館の管理上必要な限度において、条件を付することができる。

(特別観覧の許可の取消し等)

第5条 知事は、次の各号のいずれかに該当するときは、前条第1項の規定による許可を取り消し、または特別観覧を制限し、もしくは特別観覧の停止を命ずることができる。

- (1) 前条第1項の許可を受けた者（以下「特別観覧者」という。）が詐欺その他不正の行為によって同項の許可を受けたとき。
- (2) 前条第2項各号のいずれかに該当することとなったとき。
- (3) 特別観覧者がこの条例またはこの条例に基づく規則の規定に違反したとき。
- (4) 特別観覧者が前条第3項の規定により付された条件に違反したとき。
- (5) 当該許可に係る資料が災害その他の事故により特別観覧に堪えなくなったとき。
- (6) その他知事が特に必要と認めたとき。

(委 任)

第6条 この条例に定めるもののほか、必要な事項は、規則で定める。

付 則

この条例は、平成24年3月1日から施行する。ただし、第2条第1号（資料の展示および利用に係る部分に限る。）および第4条の規定は、同月17日から施行する。

滋賀県平和祈念館 年報 第6号（平成29年度）

発行日	平成30年（2018年）8月10日
編集・発行	滋賀県平和祈念館 〒527-0157 滋賀県東近江市下中野町431番地 TEL 0749-46-0300／FAX 0749-46-0350 E-Mail heiwa@pref.shiga.lg.jp
印刷	モリワキ印刷



この冊子はグリーン購入法適合紙を使用しています